学校番号	206

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽鑑賞演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体性をもって作品制作（課題）に臨む。表現の多様性を認識し、互いを認めあう。自身の常識を超える表現を試み、常に新しい作品（課題）にチャレンジする。
・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
・鑑賞ノートやワークシートへ知覚したことをアウトプットします。各学期、実技発表会を設定します。音楽鑑賞から学んだ知識や技術を表現活動へ応用します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、実技発表等で評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の多様な 音や音楽，音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性に ついて理解するとともに，創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら，個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を 育むとともに，感性を磨き，音楽文化を尊重し，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	・西洋音楽史 ・弾き語りについて ・コーラスについて ・声優(声色)について ・効果音について ・映画音楽について ・「水上の音楽」について ・「月光」について ・「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」について ・「レクイエム」について ・交響詩「海」について ・ミュージカル「アラジン」について など	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察
	歌唱	「弾き語り発表会」 ・任意の曲を個別に選曲して取り組む。	a: 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 主体的・共働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技の聴取 観察	振り返りシート ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
	器楽	「弾き語り発表会」 ・コード(M・m)について ・ピアノによるコード伴奏法について ・ギターによるコード伴奏法について ・弾き語りの練習 ・弾き語り発表会 ・振り返り	a: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 b: 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの機能を身に付けている。 c: 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	テスト 観察 実技の聴取 実技発表	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート

2学期	鑑賞	・西洋音楽史 ・クラシックについて ・エンジニアの仕事について ・指揮者の仕事について ・吹奏楽について ・アレンジ(編曲)について ・作曲法について ・ボーカロイド、v チューバーについて ・DTM や DAW について ・Greeeen の音楽制作や歌詞について ・ミュージカル「リトル・マーメイド」「美女と野獣」について	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察
	歌唱	自作曲の歌唱とボーカルレコーディング	a: 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 主体的・共働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技発表 観察	ワークシート 振り返りシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
	器楽	カリンバ ・持ち方 ・チューニング方法 ・楽譜の読み方 ・課題曲の演奏	a: 楽器の音色や奏法について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を自覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c: 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	テスト 観察	ワークシート	取り組み状況 観察

	創作	DAW を用いたオリジナル曲の制作 ・音楽制作アプリの説明 ・スケジュールの説明 ・楽曲のコンセプトを設定 ・作詞 ・メロディーの制作 ・ドラムパートの制作 ・コード進行の制作 ・ベースパートの制作 ・ボーカルレコーディング ・ミックス作業 ・データ提出 ・創作発表会 ・振り返り	a: 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律を作ったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。 b: 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの響きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫している。 c: 主体的・共働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	作品提出 観察	ワークシート	取り組み状況 観察 振り返りシート
3学期	鑑賞	・マーチングバンドについて	a: 世界の楽器や音楽、我が国の楽器や音楽の特徴について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 楽器や各ジャンルの音楽に関心を持ち、主体的、共働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	テスト ワークシート ノート提出	ワークシート ノート提出	取り組み状況 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度